

長野ブートストラップ少年団
ICTクラブ地域交流会資料

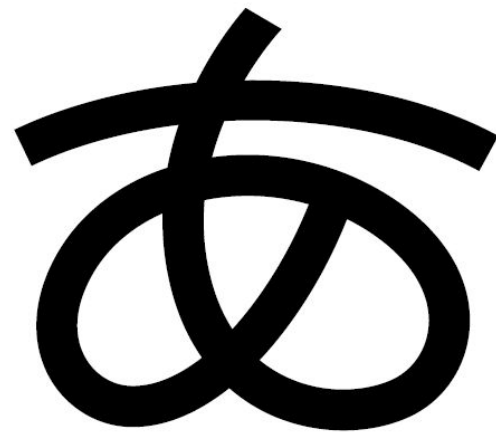


作成 2022.10.19
株式会社アソビズム 阿部正寛

もくじ

- ・ブースト団運営団体概要
- ・活動概要
- ・活動実績
 - 良かったこと/課題

運営団体概要



asobism

企業概要

株式会社アソビズムは
東京 秋葉原に本社を置くゲーム会社

「ビビッドナイト」、
「城とドラゴン」、「ドラゴンポーカー」等のアプリ
をリリース。



あ asobism

企業概要

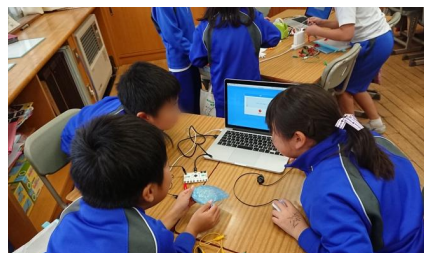
2014年に設立された支社、
長野ブランチ(長野県長野市)では、
子ども達に
作ることを楽しむ場・時間を
提供できるよう、
共育事業「**未来工作ゼミ**」を運営。



プログラミング教育



クリエイティブスペース運営



学校教育



夏のキャンプイベント

企業概要

2018年度、総務省
「地域におけるIoTの学び推進事業」
地域実証事業として
「長野ブートストラップ少年団」
の立ち上げ。



活動概要



構成員

株式会社アソビズム（代表）



クリエイティブ教育事業の
ノウハウを共有

長野市（会場やサポーター等の募集支援）

長野市 教育委員会（児童生徒募集支援）

長野市ICT産業協議会（広報支援）

信州大学教育学部
付属次世代型学び研究開発センター（講座支援）

コンセプト



子ども達が集って学び合う、
プログラミングを体験する場所



コーディング技術を教えるのではなく、
ICTやプログラミングを身近にする



専門知識がなくとも立ち上げられ、
メンター不要で運営できる



産学官で連携してコストを減らし、
定期的に継続させる

ブースト団の位置づけ



IT企業
プログラミングで働く



大学・高専
プログラミングを学ぶ



地域のプログラミング塾
プログラミングで学ぶ



プログラミングで遊ぶ



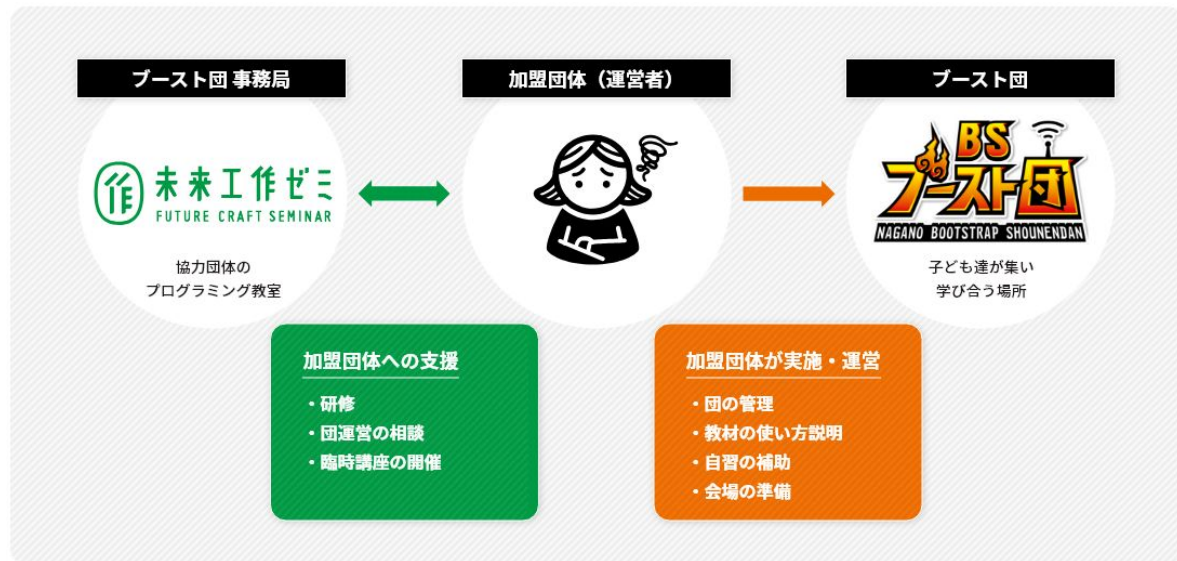
遊びとしてICTやプログラミングに触れられる場所
を増やし、ICT人材育成の基盤に



ICT人材育成を通じ、企業の誘致や起業につな
げ、ICT産業集積都市を目指す

支援体制

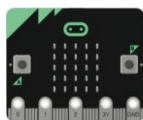
支援体制



支援内容



scratchの
教本



学習に適した
機材レンタル



WEBサイトなど
での広報支援



会場の
レンタル仲介

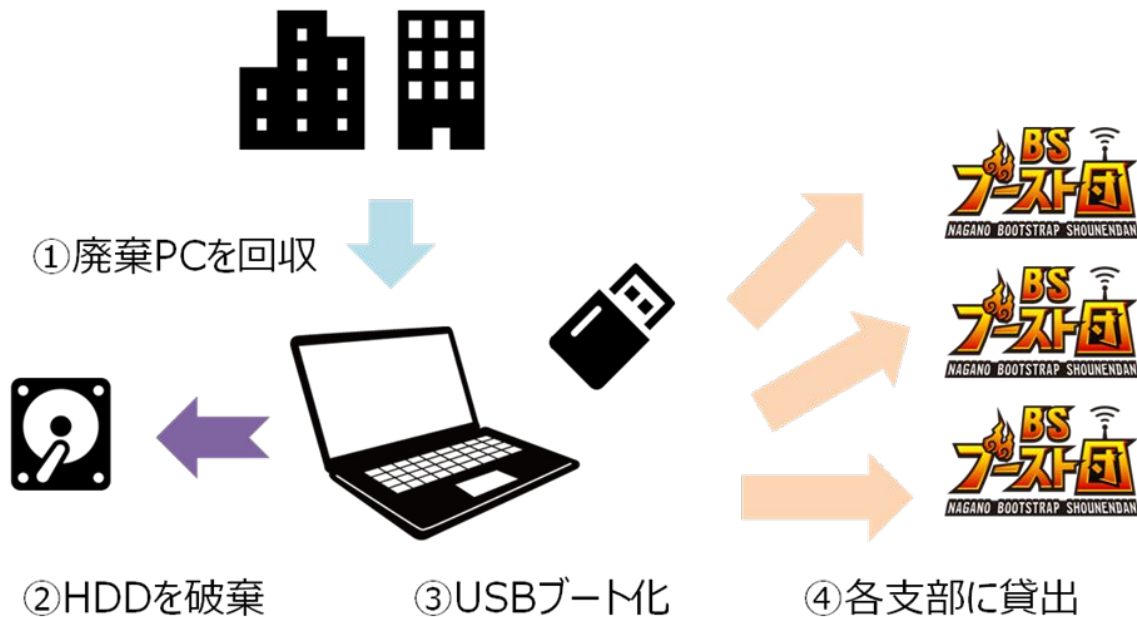


団運営の
マニュアル

コスト削減の工夫

機材の需要が高いため、ブースト団が増えるには、貸出用PCを増やすことが急務

不要PCの再利用



活動実績



支部実績

2018年から現在までで、実際に活動した団体数は計10団体



 フースト団 西之門支部

 フースト団 小布施支部

 フースト団 JBN支部

 フースト団 みどり支部

 フースト団 平谷kids支部

 フースト団 朝陽支部

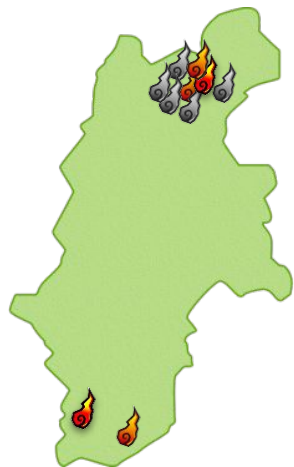
 フースト団 加茂支部

 フースト団 若槻支部

 フースト団 泰阜たんぽぽ支部

 フースト団 浅川支部

活動中



 ブースト団 西之門支部

 ブースト団 小布施支部

 ブースト団 JBN支部

 ブースト団 みどり支部

 ブースト団 平谷kids支部

 ブースト団 朝陽支部

 ブースト団 加茂支部

 ブースト団 若槻支部

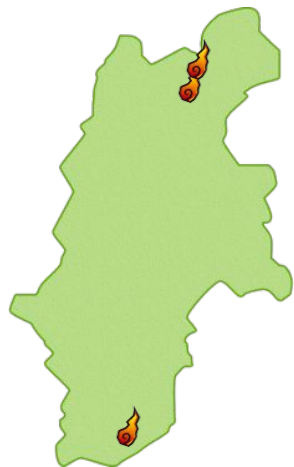
 ブースト団 泰阜たんぽぽ支部

 ブースト団 浅川支部

休止

運営中

独立



フースト団 朝陽支部

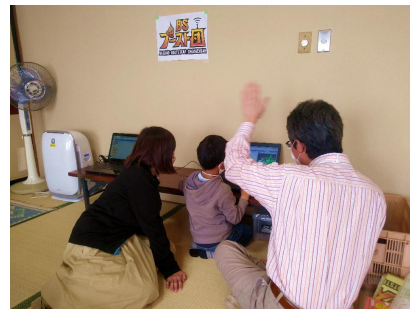
長野市内、「ながの電気クラブ」を運営する個人ら
PC所有、公民館利用、参加無料
2か月に一回程度開催、1日10組程度

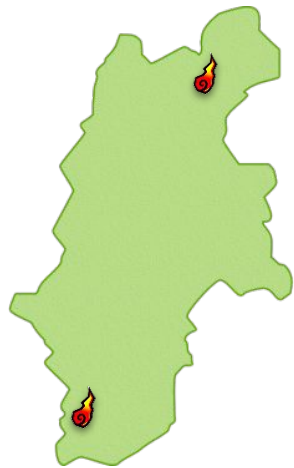
フースト団 泰阜たんぽぽ支部

泰阜村、個人
再利用PCレンタル、コミュニティカフェ利用、参加無料
1か月に一回程度開催、1回5,6組程度

フースト団 浅川支部

長野市内、ボランティア
PCレンタル、浅川小学校児童クラブを運営する、参加無料
毎放課後開催、10名程度





ブースト団 みどり支部

長野市内、個人
再利用PCレンタル、コミュニティスペース利用、参加1回500円(スペース代)
1か月に一回程度開催、1日10組程度

→場所、開催の形に目途がつけられた
→市の広報誌で広く募集

ブースト団 平谷kids支部

平谷村、官民一体の地域おこしの一環
所有PC利用、村役場内会議室利用、参加無料
1か月に一回程度開催、1回10組程度

→開催の形に目途がつけられた
→続けながら機材が整えられた



良かったことと課題

良かった

半数の支部が継続的に続けられている

- ランニングコストがかからず、熱量のある人なら誰でも運営が可能なコンセプト
- 場所と機材の調達に自治体や学校の協力を得られた

独立した団体が2つあった

- 場所と機材が揃えば、あとはどのように運営するかだけ
- 「プログラミング」「ICT」についてのハードルをうんと下げる

課題

支部の増加

- 支部の盛り上がりにより地域ごと巻き込みたい(村はこの盛り上がりが発生しやすい)

意欲はあるのに、休止している支部

- コロナ禍以降、開催のしづらさを抱えている
- オンラインでの開催ノウハウの強化、支部同士の横のつながりなど